

令和 6 年度（2024 年度）

事業報告

令和 6 年（2024 年）4 月 1 日～令和 7 年（2025 年）3 月 31 日

公益財団法人庭野平和財団

[事業活動]

(公益目的事業 1)

I. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

宗教的精神にもとづく平和のための活動を推進する宗教組織および市民組織を次の事業で支援し、その活動の質的向上とその活性化を図る。

1. 宗教的精神にもとづく平和のための活動に関する社会調査・資料収集事業

宗教組織および市民組織が行う平和のための活動に関する社会調査・資料収集を行い、その結果を公表する。主たる目的は、それぞれの組織関係者の意識向上をはかることで、それぞれの組織活動の質的向上を目指し、宗教的精神にもとづく平和のための活動に資する。

(1) 社会調査

今後実施する社会調査の準備として、調査を実施しない年に研究会を行っているが、令和 5 年度に全 5 回を予定した研究会は、年度中に 2 回実施した後、第 3 回以降が延期となっていた。

今年度、新たに寺田喜朗氏（大正大学文学部教授）と丹羽宣子氏（立教大学コミュニティ福音学部助教）にファシリテーターとしてご協力いただき、引き続き「若者の宗教性はどう涵養されるのか、されないのか。どこで、誰に。」を共通の問題意識として、各回一人が各自の立場から発表を行う相互討論形式の研究会（2 時間）をオンライン（Zoom ミーティング）で 3 回（令和 6 年 8 月 27 日、10 月 16 日、11 月 22 日）実施した。

(2) 情報・資料収集

被助成事業の進捗や成果等を実地に知るため、採択された団体の行う事業等に参加した。

区分	月日	団体／事業	場所
公募	6. 29	特定非営利活動法人 難民を助ける会／報告会「被災地支援の課題：能登半島地震の経験から」	日本青年館ホテル (東京都新宿区)
公募	11. 8	特定非営利活動法人 難民を助ける会／在日アフガニスタン難民・避難民と地域のコミュニティとの多文化共生推進事業	幕張公民館 (千葉県千葉市)
NPF アソシ エイ	R7. 2. 11	リタ市民アセット財団（コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデル PJ チームが基となって設立）／設立記念フォーラム	タワーホール船堀 (東京都江戸川区)

2. 普及啓発事業

公益目的事業（社会調査・資料収集事業、庭野平和賞の事業及び助成事業）の成果を、宗教組織および市民組織の関係者を主たる対象に、セミナー、シンポジウムの開催により普及啓発する。そのことにより宗教組織および市民組織の人材の育成、専門知識の取得および組織の活動の充実を目指す。

(1) 庭野平和賞受賞者記者懇談会（京都） — II. 1. (2) の項参照

令和 6 年 5 月 16 日、第 41 回庭野平和賞受賞者によるスピーチ、京都宗教記者クラブの記者

との質疑応答などによる懇談会を開催した。

(2) 「カンボジア現代紛争史と NGO の 43 年」上映会

- a. 日 時：令和 6 年 9 月 19 日 〈午後の部〉 午後 1 時 30 分～4 時 15 分
 〈夜の部〉 午後 6 時 30 分～8 時 30 分
- b. 会 場：ユーロスペース（東京都渋谷区）
- c. 概 要：令和 4 年度及び令和 6 年度 NPF プログラムで助成した「カンボジア紛争と NGO の歴史」（学校法人神奈川映像学園日本映画大学の活動プロジェクト）の年度事業成果であるドキュメンタリー映像「カンボジア現代紛争史と NGO の 43 年」（2024 年版）の上映会を行った。1980 年代からカンボジア国内での復興協力を目指した日本およびカンボジア双方の当事者が、過酷な状況の中で展開された活動の経験や知見、思い等を語る姿など、制作にあたって新たに行われたインタビュー映像記録を基に、物語性を高めたドキュメンタリー映像として完成された作品である。日本社会の中でカンボジア/インドシナに対する関心が下火になっているとの見方もあるが、日本の NGO/CSO（市民社会組織）の広範な誕生と発展の原点であったともいえる言えるカンボジア/インドシナの現代紛争史を映像で振り返る意義は大きい。併せて、午後の部の上映後、インタビューにも登場した、ペン・セタリン氏（王立プノンペン大学文学部教授）、米倉雪子氏（昭和女子大学教授）、大河内秀人氏（見樹院／寿光院住職）、重田康博（宇都宮大学国際学部元教授）によるミニ・セミナーを行った。NPO 関係者や市民など約 110 名が参加した。

(3) シンポジウム「若者の宗教性はどう涵養されるのか、されないのか。どこで、誰に。」

- a. 日 時：令和 7 年 3 月 13 日 午後 2 時 30 分～5 時 30 分
- b. 会 場：オンライン（Zoom ミーティング）
- c. 概 要：令和 5 年度から令和 6 年度にかけて、社会調査に関連して「若者の宗教性はどう涵養されるのか、されないのか。どこで、誰に。」を共通の問題意識として実施された研究会のまとめとしてのシンポジウム。はじめに、丹羽宣子氏（立教大学コミュニケーション・ユニティ福祉学部助教）からシンポジウムの趣旨等を説明。次いで、中條暁仁氏（静岡大学教育学部准教授）、石橋大輔氏（札幌バプテスト教会牧師）、猪瀬優理氏（龍谷大学社会学部教授）より、研究会での議論や実地の調査結果などを踏まえて、各自の視点から発表。そして、寺田喜朗氏（大正大学文学部教授）によるコメントに始まるディスカッション・質疑応答があった。教団付置研究所関係者や市民ら約 75 名が参加した。

(4) BNN（仏教 NGO ネットワーク）活動の促進

BNN の活動の促進に貢献するため、企画委員会等に参加し、BNN が主催する『寺院備災ガイドブック』の普及活動や講演会等の開催に協力した。また、BNN ニュースレターの企画、編集に協力した。

会議日：令和 6 年 4 月 11 日、7 月 2 日（総会）、9 月 26 日、10 月 31 日、令和 7 年 2 月 4 日
講演会：令和 6 年 7 月 2 日、12 月 13 日

(5) ウェブサイトを利用した情報公開

公益目的事業の内容等の公開につとめた。

(公益目的事業2)

II. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞として、庭野平和賞の贈呈と庭野平和賞奨励賞の贈呈を行う。また、その業績を国内外のメディアを通じて世界的に広報する。

1. 庭野平和賞

(1) 第41回贈呈式・記念講演・レセプション

a. 日 時：令和6年5月14日 午前10時15分～午後1時30分

b. 会 場：国際文化会館（東京都港区）

c. 概 要：第41回庭野平和賞贈呈、祝辞、受賞者による記念講演、レセプション。

モハメド・アブニマー博士（第41回庭野平和賞受賞者）、財団関係者、宗教関係者、学術経験者、市民活動関係者、マスコミ関係者など約130名が参加した。

(2) 第41回庭野平和賞受賞者を囲む記者懇談会

a. 日 時：令和6年5月16日 午後2時～3時30分

b. 会 場：京都東急ホテル（京都市下京区）

c. 概 要：第41回庭野平和賞受賞者と京都宗教記者クラブ所属記者との懇談会。

モハメド・アブニマー博士（第41回庭野平和賞受賞者）、京都宗教記者クラブ所属の記者など約15名が参加し、受賞者による発題の後、記者との質疑応答を行った。

(3) 庭野平和賞委員会

第42回受賞者の選定並びに第43回候補者受付及び審査等の実施

A. 日 程：

令和6年5月12日 執行委員会及び指名委員会

令和6年5月13日 平和賞委員会 第42回受賞者選定

その後、調査及び内示を実施

令和6年7月 第43回 一般推薦の推薦状送付

令和6年9月 第43回 一般推薦の締切

令和6年10月 第43回 第1次選考（～11月）

令和6年12月 第43回 第2次選考（～令和7年2月）

令和7年2月18日 第42回 受賞者公式発表（京都、バチカン）

B. 第42回受賞者の選定

令和6年5月13日に開催された庭野平和賞委員会において、マレーシアで創設された世界的な運動体であるムサーワーを、第42回庭野平和賞受賞者に選定した。受諾の意思を確認後、令和7年2月18日、京都において記者会見を開き、受賞者の公式発表を行った。

C. 庭野平和賞委員会委員（敬称略）

フラミニア・ジョバネッリ（委員長）、ムハンマド・シャフィーク、ノクゾラ・ムンデンデ、

ソンブーン・チュングプランプリー、アブラハム・スコルカ、ミニブ・ユナン、アルズー・アフメッド、ケゼヴィノ・アラム、庭野日鑑

(4) 関連行事

- a. 令和6年5月15日 第41回庭野平和賞受賞者と当財団の庭野浩士理事長の対談
- b. 令和6年5月15日 第41回庭野平和賞受賞者の立正校成会（東京都杉並区）訪問

2. 庭野平和賞奨励賞

(1) 庭野平和賞奨励賞委員会

第3回庭野平和賞奨励賞受賞者の選定

A. 日 程：

- 令和6年11月 推薦依頼と受付（～12月）
- 令和6年12月 第1次選考
- 令和6年12月23日 第2次選考
- 令和7年1月17日 庭野平和賞奨励賞委員会の開催 第3回受賞者を選定
その後、内示の実施
- 令和7年3月 第3回受賞者を発表（財団ウェブサイト）

B. 第3回受賞者の選定

令和7年1月17日に開催された庭野平和賞奨励賞委員会において、第3回庭野平和賞奨励賞受賞者に、人権擁護活動家であるエリサベット・モレーノ・バルコ氏（コロンビア）と人権擁護のための弁護士組織であるムスリム弁護士センター（タイ）を選定した。受諾の意思を確認後、令和7年3月に財団ウェブサイトで発表した。

C. 庭野平和賞奨励賞委員会委員（敬称略）

浅見靖仁（委員長）、目加田説子、岩附由香、枝木美香、工藤律子、ウスビ・サコ、ソンブーン・チュングプランプリー、ウルワシ・ブタリア

(2) 第2回庭野平和賞奨励賞 関連行事

- a. 令和6年7月10日 第2回受賞者ティック・タム・チー師と大学生の対話交流（法政大学 浅見靖仁教授の講義）

（公益目的事業3）

III. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成

人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進を目指した宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究へ資金助成を行う。

1. 公募による助成

(1) 実施概要

- 募集期間： 令和6年10月28日～11月28日
- 選考委員会： 令和7年2月17日
- 応募件数： 49件
- 助成件数： 12件

助成総額： 10,229,872 円

助成期間： 令和 7 年 4 月から 1 年間

※国内（6 件）4,500,000 円と海外（6 件）5,729,872 円の送金は令和 7 年 4 月に予定

（2）公募助成小委員会（敬称略）

茅野俊幸（委員長）、下澤嶽、工藤律子、牧田東一、内山義英、秀島くみこ

（3）助成先の決定

公募助成小委員会（選考委員会）で審査し選考した助成先を、理事長の決裁で決定した。

2. 非公募による助成（NPF プログラム）

助成総額 8,990,000 円

（1）年度計画当初の助成・・・・・計 4,990,000 円（2 件）

A. バングラデシュ国ノンフォーマル教育支援の持続化、トランسفォーメーション促進事業（フェーズ 3）

a. 団体名：特定非営利活動法人 アジアキリスト教教育基金（ACEF）

b. 助成額：2,990,000 円

B. 『カンボジア現代紛争史と NGO の 43 年』映像等制作プロジェクト（第二年度）

a. 団体名：学校法人 神奈川映像学園 日本映画大学

b. 助成額：2,000,000 円

（2）年度内に採択された助成（臨時助成）・・・・助成額合計 4,000,000 円（2 件）

A. コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデル

a. 団体名：コモンズの共有資産として活用する「寺院所有アセット」モデル PJ

b. 助成額：2,000,000 円

B. 平和構築のための日韓ユースフォーラム

a. 団体名：日韓和解と平和プラットフォーム（日本キリスト教協議会）

b. 助成額：2,000,000 円

（3）NPF プログラム助成小委員会（敬称略）

川北秀人（委員長）、浅見靖仁、熊岡路矢、米倉雪子、野口陽一

委員会開催日：令和 6 年 5 月 24 日、令和 7 年 2 月 7 日

（4）助成先の決定

年度計画当初の助成先は、NPF プログラム助成小委員会において予め審査された助成案件を理事会で審議して決定した。年度内の採択（臨時助成）については、年度計画当初の助成が決定された後に申請された、活動が 1 年未満で終了する短期的な案件を NPF プログラム助成小委員会で審査し、その後、理事長による決裁で助成先を決定した。

3. 指定寄付による助成

本年度は、この助成に該当する他団体からの財源の提供がないため実施しなかった。

4. 助成委員会の開催

各助成小委員会の委員長から、助成事業の方針や運営などについて意見を伺った。

[法人運営]

I. 総務

1. 法務に関する業務

(1) 内閣府との連絡、交渉及び法務局への登記事務他

- 令和6年4月1日 評議員の変更の登記（東京法務局新宿出張所）
令和6年4月11日 変更の届出（内閣府／電子申請）（評議員の変更）
令和6年6月24日 令和5年度事業報告等の提出（内閣府／電子申請）
令和6年6月20日 理事等の選任による変更の登記（東京法務局新宿出張所）
令和6年7月11日 変更の届出（内閣府／電子申請）（理事等の選任による変更）
令和7年3月28日 令和7年度事業計画書等の提出（内閣府／電子申請）

2. 会議に関する業務

(1) 理事会、評議員会の開催

令和6年5月27日

・第43回理事会

審議事項：事務局長の任免の件、令和5年度事業報告及び附属明細書の承認の件、令和5年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件、令和6年度資産管理運用基本方針の一部変更の件、第30回評議員会の開催の件

報告事項：令和6年度事業の進捗状況・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和5年度の寄附受領について

令和6年6月19日

・第30回評議員会

審議事項：理事の選任の件、監事の選任の件、令和5年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件

報告事項：令和5年度事業報告及び附属明細書について、第43回理事会について、令和6年度事業の進捗状況・理事長及び専務理事の職務執行状況について

令和6年6月19日

・第44回理事会

審議事項：代表理事（理事長）及び業務執行理事（専務理事）の選定の件、役員及び評議員の報酬辞退への対応の件、庭野平和賞奨励賞委員会委員の選任の件

報告事項：第30回評議員会の報告

令和7年3月4日

・第45回理事会

審議事項：庭野平和賞委員会委員選任の同意の件、令和7年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認の件、令和7年度資産管理運用基本方針の承認の件、令和7年度役員賠償責任保険加入の承認の件、庭野平和賞

委員会規約の一部変更の件、第31回評議員会の開催の件

報告事項：令和6年度事業の経過報告・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和6年度収支決算見込みについて

令和7年3月17日

・第31回評議員会

報告事項：第45回理事会について、令和6年度事業の経過報告・理事長及び専務理事の職務執行状況について、令和6年度収支決算見込みについて、令和7年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

(2) 月例ミーティング

当財団業務の推進にあたり理事長への報告・調整・打ち合わせ等を実施

実施状況：令和6年4月24日、5月29日、6月26日、7月26日、8月26日、9月30日、
10月28日、11月25日、12月5日、令和7年1月30日、2月27日、3月27日

(3) 諸会議の開催・運営

3. 監査に関する業務

(1) 監査のための諸資料の準備

(2) 監査の実施

実施日：令和6年5月20日

場 所：当財団会議室

内 容：令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の会計監査及び業務監査

4. 文書管理に関する業務

(1) 各種文書の作成、提出、管理及び保管他

5. 庶務に関する業務

(1) 什器備品、不動産、印刷物、公印等の管理他

(2) その他どの部門にも属さない事項の処理他

II. 財務

1. 資産運用及び管理に関する業務

(1) 債券等の運用

A. 令和6年10月8日、償還金による「みずほFG劣後社債30 <みずほ>」（額面1億円）の購入。

B. 令和6年10月11日、償還金による「三井住友FG劣後社債18 <日興>」（額面1億円）の購入。

2. 経理、会計、記帳計算に関する業務

- ・現金、通帳の管理（外貨含む）
- ・日々の伝票記帳、毎月の伝票、月次決算書の作成、確認
- ・源泉徴収税の納付
- ・仮払金の管理
- ・隨時、送金手配（海外送金含む）
- ・法定調書の作成
- ・寄附金の受付

- ・国税、地方税への対応

III. 労務

1. 事務局人員構成（令和7年3月31日現在）

常勤	庭野 浩士	理事長
	廣中 誠司	専務理事
	仲野 省吾	事務局長 助成・庭野平和賞奨励賞・Web 担当
	工藤 夏紀	庭野平和賞担当
	廣井 由紀子	研究/啓発・総務・経理担当
	平野 愛奈	庭野平和賞・Web 担当

2. 人事及び福利厚生に関する業務

- ・勤怠管理及び出勤簿、勤怠月報の管理
- ・社会保険業務
- ・安全衛生及び福利厚生他

以 上

附属明細書

令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 7 年 6 月

公益財団法人庭野平和財団